



「親子で遊ぼう！わんぱくひろば」でタコのつかみ捕りに挑戦する子どもたち

広報

No.667

させぼ



広報させぼ 編集長
「キューちゃん」

特集

見どころ満載
佐世保の観光

2~7p

今月の主な内容

風水害、地震災害への備え、環境月間など	8~13p
イベント、施設だより	14~15p
市民の広場	16~17p
歴史散歩、カレンダー、テレホンガイド	26~27p
九じろうの取材日記	28p



PUBLIC RELATIONS SASEBO



広報 させぼ

平成18年6月1日発行

佐世保市役所企画調整部秘書課広報係 TEL0956-24-1111 FAX25-2184

〒857-8585(市役所専用)長崎県佐世保市八幡町1-10 http://www.city.sasebo.nagasaki.jp 印刷/中央印刷有限会社

九じろうの取材日記

佐世保市国際交流員
楊成舜さん



楊成舜(ヤン・チェンシュン)さん
中国・青島市出身。36歳。青島出版社勤務。青島大学日本語学部で4年間日本語を学ぶ。平成16年に「東京国際ブックフェア」に参加のため初来日。出版社では日本文学の翻訳出版業務や著作権取得などを担当。

4月13日付けで、中国・青島市から本市10人目の国際交流員として着任した楊さんをご紹介します。楊さんは市役所文化交流課に在籍し、1年間、中国からの訪問客の通訳や市民への語学指導などを担当します。

「非常にきれいなまち」佐世保
楊さんに佐世保の第一印象を尋ねると「非常にきれいなまち」との答えが返ってきました。中国とは違いまち中に緑が多く、ごみが全くと言えるほどないまちのきれいに、「非常に」という言葉を付けるほど感心したそうです。
「先日、万徳町の自宅から歩いて弓張岳まで登り、展望台から見た佐世保港と眼下に広がる街並み、九十九島の美しさにも感動しました」と楊さん。
故郷の青島も佐世保と同じように山や海があるきれいなまちで、ドイツ風の建築物が立ち並ぶ古い街並みがある一方、東部地区では開発が進み、日々発展しているそうです。



中国からの技術研修生、馬俊鋒さん(写真左)・廖欣さん(写真中央)に日本語会話を教える楊さん

楊さんは、子どものころに見た高倉健さんの映画や、山口百恵さんのテレビドラマで日本に興味を持ったことがきっかけで、大学で日本語を専攻しました。
その楊さんの本市での最初の仕事は、地元青島から訪れた労働区副区長が光武市長を表敬訪問をしたときの通訳でした。出版社の仕事で日本語を書くことには慣れていましたが、通訳業務はこれが初めてでした。
通訳デビューの感想は、「通訳は難しく、まだまだだと思いました。が、これから頑張ります。この1年で上達すると確信しています」と、力強く語ってくれました。

通訳はまだ難しいです

観光・文化交流の懸け橋に

家族(妻、6歳の長男)を中国に残して単身赴任中の楊さんは、自炊をしながら、佐世保での生活を送っています。
現在は通訳や翻訳のほか、中国からの技術研修生に日本語会話を教えています。
「これからは、市民の皆さんに中国語を教える機会があると思います。言葉だけでなく、中国文化を佐世保市民に広げていきたい。観光・文化交流の役に立ちたいです」と抱負を語ってくれました。
文化交流課では、市民の皆さんの要請に応じ、楊さんを講師として各種講座へ派遣する予定です。

お尋ね 市役所文化交流課
0956・24・1111

編集長から一言

先日乗ったタクシの運転手さんが言うには、初めて佐世保に来た人は「軍港、基地、造船の街」というイメージが強いせいだが、佐世保の街並みや九十九島、ハウステンボスなどが新鮮に感じられるそうです。微力ですが今後も、広報紙で佐世保の良さを発信していきたいと思えます。(K)

